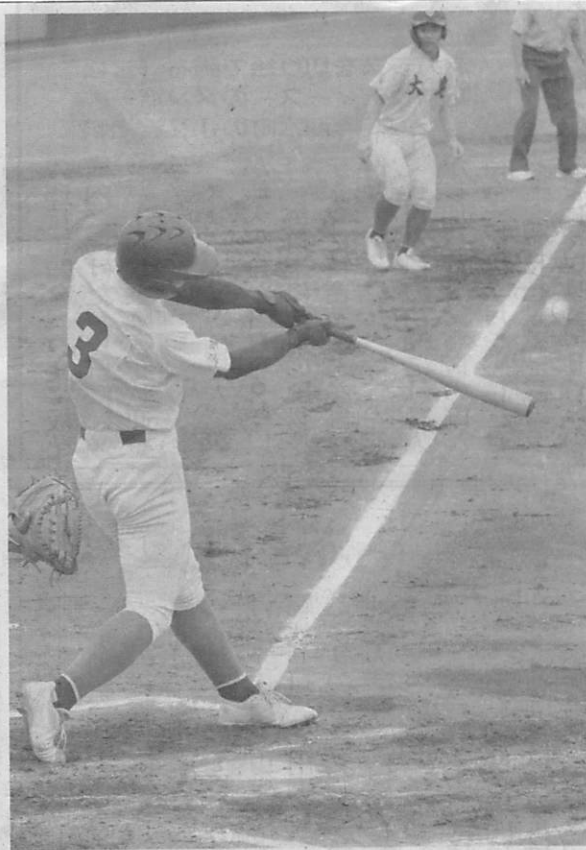


# 銀杏坂

～輝く薩摩中央～

令和8年7月6日(月)

令和8年7月5日(日)・6日(月)付南日本新聞に野球部・女子バレーボール部大会結果についての記事が掲載されましたので、紹介します。



1回裏大島1死二、三塁、松原が左越え二塁打を放つ＝平和リース (財部拓海撮影)

## 5校一丸で成果

大島15-0連合

夏に向け、チームは5月

が痛かった」と振り返った。

○志学館・修学館・薩摩中央・川辺・蒲生の連合(学館)の3年生2人を中心チームは点差が開いても、ベンチから声を出し続け

一方、二、四回は無失点に抑え、併殺も奪うなど随所で練習の成果を出した。チーム唯一の安打を放った

た。内藤主将(志学館)は「悔しさもあるが、チーム一丸となって戦えた。頼もしい後輩たちだった」と声を震わせた。

1年の溜(志学館)は「3年生2人が常に励ましてくれた。先輩の分まで来年は勝ちたい」と前を見据えた。(児玉菜々子)

### 男子鹿大A頂点 女子は鹿城西高

高が2年ぶり2回目の頂点に立った。両チームは九州プロクワウンド(9月19〜21日・宮崎県)に出場する。

ハレーボール  
全日本選手権県予選  
バレーボールの天皇杯・皇后杯全日本選手権鹿児島県予選最終日は5日、鹿児島市の吉田文化体育センターで男女の決勝までがあった。男子は鹿児島大Aが7年ぶり2回目の優勝、女子は鹿児島城西

▽男子準決勝 志学館大A2-0 TOA、鹿商高2-0 鹿大B、鹿大A2-1 鹿玉龍高、第一  
▽女子準決勝 鹿城西高2-0 薩摩中央高A、鹿実高A2-1 鹿南高  
▽決勝 鹿城西高2-0 鹿実高A